



四季彩苑



万葉パークゴルフ場



万葉の森



大衡城

= プレイバック大衡 130 =

# 大衡村のあゆみ



村木(あかまつ)



村花(ききょう)



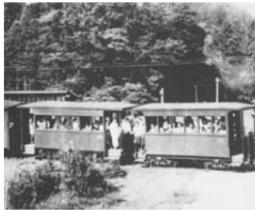
村鳥(キジ)

**明治22年(1889年)**  
 ・市町村制が施行され、大衡村、大瓜村、駒場村、大森村、奥田村が合併して大衡村となる(人口2751人・世帯数344戸) 行政区が設けられ、9区長を任命  
**明治23年(1890年)**  
 ・駒場山で亜炭が初めて発見され、採掘が始まる。  
**明治24年(1891年)**  
 ・村役場を大童に設置  
**明治30年(1897年)**  
 ・この年から同34年にかけて大瓜地区約15.6町歩が王城寺原演習場用地として陸軍省に買収される  
**明治36年(1903年)**  
 ・村役場を野畑に移転  
**明治36年(1903年)**  
 ・布施十造氏が「大衡村誌」を著す  
**明治41年(1908年)**  
 ・大瓜地区約8.02町歩が演習場用地として買収され、藤ノ沢・柏木等に居住する29戸が移転  
**明治42年(1909年)**  
 ・大衡村消防組(公設)が発足、定員60名、初代組頭に大瓜上の石川儀右衛門氏となる  
**大正元年(1912年)**  
 ・村民の寄付により役場に自転車1台が購入される  
**大正3年(1914年)**  
 ・菅野英吉氏が「大衡村誌」を著す  
**大正7年(1918年)**  
 ・大衡小学校新築校舎完成  
**大正11年(1922年)**  
 ・大衡尋常小学校に高等科設置  
**大正13年(1924年)**  
 ・五反田に種牡馬の種付所開設  
**昭和3年(1928年)**  
 ・大衡小学校増築校舎完成(2階建6教室)  
**昭和3年(1928年)**  
 ・仙台鉄道(仙台軌道) 吉岡・大衡間開通

**昭和62年(1987年)**  
 ・宮城の自然100選に「達居森」選出  
 ・新観光名所100選に「昭和万葉の森」と「牛野ダム」が一体となって入選  
**昭和63年(1988年)**  
 ・仙台北部中核工業団地分譲開始  
 ・「宮城沖電気(株)」工場完成  
**平成元年(1989年)**  
 ・村制施行100周年記念式典開催  
 ・「大衡村議会100年史」発刊  
 ・「昭和万葉の森」開園  
 ・皇太子殿下「昭和万葉の森」へ来園  
 ・公共下水道事業が下水道法の認可を受けて工事着手  
**平成2年(1990年)**  
 ・村制100周年記念公園「つるばみ苑」開園  
**平成3年(1991年)**  
 ・村鳥に「キジ」制定  
**平成4年(1992年)**  
 ・万葉茶屋オープン  
**平成4年(1992年)**  
 ・公共下水道一部供用開始  
**平成5年(1993年)**  
 ・大衡村ふるさと美術館開館  
**平成6年(1994年)**  
 ・大衡村西部球場完成  
**平成7年(1995年)**  
 ・「衡中」に分割し、13行政区となる  
**平成8年(1996年)**  
 ・河原住宅の全棟(54戸)が完成(平成6年一部完成)  
**平成8年(1996年)**  
 ・大衡村児童館完成  
**平成9年(1997年)**  
 ・多目的運動広場完成  
 ・第二仙台北部中核工業団地造成に着手  
 ・大衡城跡を取得し、本村第1号の文化財に指定  
**平成10年(1998年)**  
 ・合併処理浄化槽設置費補助制度スタート  
**平成11年(1999年)**  
 ・名誉村民の称号を前村長佐野小太郎氏に贈る  
**平成12年(2000年)**  
 ・総合運動公園造成工事(自衛隊土木部外工事)完了  
 ・大衡村民プール完成  
**平成13年(2001年)**  
 ・駒場に通学専用バス(スクールバス)運行開始  
**平成13年(2001年)**  
 ・第二仙台北部中核工業団地の新字名を「松の平」に決定  
 ・第二仙台北部中核工業団地一部分譲開始  
 ・無線放送施設設置事業(更新)完了  
 ・特別純米酒「万葉美人」販売開始  
 ・新世紀・みやぎ国体開幕 大衡村多目的運動広場でハンドボール(少年女子) 競技実施(民泊受入)  
**平成14年(2002年)**  
 ・万葉バス「駒場線」運行開始  
 ・中学生までの医療費を援助する「万葉すくすく子育てサポート事業」開始  
**平成15年(2003年)**  
 ・万葉バス本格運行開始  
 ・万葉クリエートパーク一部開園  
 ・幼稚園で預かり保育開始  
 ・第二仙台北部中核工業団地棟業第1号の「柵すかいらいく仙台M Dセンター」完成  
**平成16年(2004年)**  
 ・大衡中学校防音復旧及び大規模改修工事完了  
 ・万葉すくすく子育てサポート事業の助成対象が18歳まで拡大  
**平成17年(19942年)**  
 ・大衡中学校校舎完成  
**昭和30年(1955年)**  
 ・第6回全国植樹祭が、両陛下御臨席のもと平林において行われる  
 ・村営住宅が五反田に10戸、柵木に5戸、上阿園に5戸建設  
**昭和31年(1956年)**  
 ・黒川高等学校大衡分校が本校に統合  
**昭和32年(1957年)**  
 ・村消防団第8分団が増設  
**昭和33年(1958年)**  
 ・王城寺原演習場から駐留軍が撤退、自衛隊が使用する  
**昭和34年(1959年)**  
 ・大衡中学校が学校植林コンクール日本一になる  
**昭和35年(1960年)**  
 ・村消防団に2分団(松原・蕨崎・衡東)が増設  
 ・金洗堰用排水路補修工事が演習場障害防止対策事業で始められる(50年度完成)  
**昭和38年(1963年)**  
 ・大衡中学校の生徒数が開校後最高の580名、この時の大衡第一小児童数698名、第二小329名  
 ・「広報おおひら」第1号発刊  
**昭和39年(1964年)**  
 ・善川と埋川の改修工事が演習場に関連する障害補償工事として継続事業で始まる  
**昭和40年(1965年)**  
 ・亜炭鉱復旧事業始まる  
**昭和40年(1965年)**  
 ・農業構造改善事業(第一次)完工式を行う。  
**昭和41年(1966年)**  
 ・有線放送電話施設工事着手  
**昭和42年(1967年)**  
 ・有線放送開始、12月から公社電話吉岡局と通話可能になる  
 ・交通安全指導員設置  
**昭和43年(1968年)**  
 ・地籍調査事業開始  
 ・村章(大衡村の「大」をマークデザインし三角形の安定した構成は村民の精神的・経済的安定、円形は村の発展を強調)、村民歌制定  
 ・牛野ダム完成(昭和36年着工)  
**昭和44年(1969年)**  
 ・有線放送電話施設工事着手  
**昭和45年(1970年)**  
 ・大衡城跡公園が明治100周年記念事業として整備開園  
 ・軌道敷地を通学路として取得  
 ・過疎地域振興計画樹立  
 ・婦人防火クラブ結成  
**昭和46年(1971年)**  
 ・大衡第一・第二幼稚園開園  
 ・村営住宅を河原に16戸建設  
**昭和47年(1972年)**  
 ・小学校が統合され、大衡小学校となる(児童数大童教場308名、大森教場86名、大瓜分校22名、針分校59名、計475名)  
 ・村営住宅を河原に14戸建設  
**昭和48年(1973年)**  
 ・大衡村民憲章制定  
 ・大衡小学校校舎が平林に完成  
**昭和49年(1974年)**  
 ・大童教場、大森教場、大瓜分校、針分校が閉校となり、4月から全児童が新校舎に移る  
 ・大衡保育園完成  
 ・「議会広報おおひら」が創刊  
**昭和50年(1975年)**  
 ・農民研修センターが平林に完成  
 ・水道事業経営が県知事より認可を受け、水道創設事業始まる  
**昭和51年(1976年)**  
 ・大衡幼稚園新築移転(児童館併設)  
**昭和52年(1977年)**  
 ・大衡中学校新築校舎完成(2級防音改築工事)  
 ・上北沢排水処理場完成  
 ・8月6日・9月5日東北学院大学考古学研究所が亀岡遺跡の発掘調査を行う  
**昭和53年(1978年)**  
 ・ダイヤル式電話開通 加入世帯1042戸、加入率91%  
 ・有線放送事業廃止  
 ・学校給食センター完成  
**昭和54年(1979年)**  
 ・小、中学校給食開始  
 ・村民体育館完成  
**昭和55年(1980年)**  
 ・五反田北住宅24戸完成  
 ・村の東側約580戸に上水道通水  
 ・無線放送の運用開始  
 ・老人福祉センター開所  
 ・広域ゴミ処理場(大衡村・大和町・大郷町)の環境管理センターが大和町吉田字若畑に完成し、業者委託によるゴミの収集業務が始まる  
**昭和57年(1982年)**  
 ・村花に「ききょう」「村木に「あかまつ」制定  
 ・役場新庁舎が平林に完成  
**昭和58年(1983年)**  
 ・大衡村誌編纂委員会が「大衡村誌」刊行「コミュニケーション」平林会館」完成  
**昭和59年(1984年)**  
 ・仙台北部中核工業団地の造成について覚書の調印式が東京で行われ、地域振興、整備公団と宮城県共同事業として採択される  
**昭和60年(1985年)**  
 ・大衡村初の名誉村民の称号を菅野廉画伯に贈る  
 ・奥田と大森に通学専用バス(スクールバス)運行  
**昭和61年(1986年)**  
 ・大瓜に通学専用バス(スクールバス)運行



天皇、皇后両陛下による記念御播種



仙台鉄道(仙台軌道)

**平成10年(1998年)**  
 ・合併処理浄化槽設置費補助制度スタート  
**平成11年(1999年)**  
 ・名誉村民の称号を前村長佐野小太郎氏に贈る  
**平成12年(2000年)**  
 ・総合運動公園造成工事(自衛隊土木部外工事)完了  
 ・大衡村民プール完成  
**平成13年(2001年)**  
 ・駒場に通学専用バス(スクールバス)運行開始  
**平成13年(2001年)**  
 ・第二仙台北部中核工業団地の新字名を「松の平」に決定  
 ・第二仙台北部中核工業団地一部分譲開始  
 ・無線放送施設設置事業(更新)完了  
 ・特別純米酒「万葉美人」販売開始  
 ・新世紀・みやぎ国体開幕 大衡村多目的運動広場でハンドボール(少年女子) 競技実施(民泊受入)  
**平成14年(2002年)**  
 ・万葉バス「駒場線」運行開始  
 ・中学生までの医療費を援助する「万葉すくすく子育てサポート事業」開始  
**平成15年(2003年)**  
 ・万葉バス本格運行開始  
 ・万葉クリエートパーク一部開園  
 ・幼稚園で預かり保育開始  
 ・第二仙台北部中核工業団地棟業第1号の「柵すかいらいく仙台M Dセンター」完成  
**平成16年(2004年)**  
 ・大衡中学校防音復旧及び大規模改修工事完了  
 ・万葉すくすく子育てサポート事業の助成対象が18歳まで拡大  
**平成17年(19942年)**  
 ・大衡中学校校舎完成  
**昭和30年(1955年)**  
 ・第6回全国植樹祭が、両陛下御臨席のもと平林において行われる  
 ・村営住宅が五反田に10戸、柵木に5戸、上阿園に5戸建設  
**昭和31年(1956年)**  
 ・黒川高等学校大衡分校が本校に統合  
**昭和32年(1957年)**  
 ・村消防団第8分団が増設  
**昭和33年(1958年)**  
 ・王城寺原演習場から駐留軍が撤退、自衛隊が使用する  
**昭和34年(1959年)**  
 ・大衡中学校が学校植林コンクール日本一になる  
**昭和35年(1960年)**  
 ・村消防団に2分団(松原・蕨崎・衡東)が増設  
 ・金洗堰用排水路補修工事が演習場障害防止対策事業で始められる(50年度完成)  
**昭和38年(1963年)**  
 ・大衡中学校の生徒数が開校後最高の580名、この時の大衡第一小児童数698名、第二小329名  
 ・「広報おおひら」第1号発刊  
**昭和39年(1964年)**  
 ・善川と埋川の改修工事が演習場に関連する障害補償工事として継続事業で始まる  
**昭和40年(1965年)**  
 ・亜炭鉱復旧事業始まる  
**昭和40年(1965年)**  
 ・農業構造改善事業(第一次)完工式を行う。  
**昭和41年(1966年)**  
 ・有線放送電話施設工事着手  
**昭和42年(1967年)**  
 ・有線放送開始、12月から公社電話吉岡局と通話可能になる  
 ・交通安全指導員設置  
**昭和43年(1968年)**  
 ・地籍調査事業開始  
 ・村章(大衡村の「大」をマークデザインし三角形の安定した構成は村民の精神的・経済的安定、円形は村の発展を強調)、村民歌制定  
 ・牛野ダム完成(昭和36年着工)  
**昭和44年(1969年)**  
 ・有線放送電話施設工事着手  
**昭和45年(1970年)**  
 ・大衡城跡公園が明治100周年記念事業として整備開園  
 ・軌道敷地を通学路として取得  
 ・過疎地域振興計画樹立  
 ・婦人防火クラブ結成  
**昭和46年(1971年)**  
 ・大衡第一・第二幼稚園開園  
 ・村営住宅を河原に16戸建設  
**昭和47年(1972年)**  
 ・小学校が統合され、大衡小学校となる(児童数大童教場308名、大森教場86名、大瓜分校22名、針分校59名、計475名)  
 ・村営住宅を河原に14戸建設  
**昭和48年(1973年)**  
 ・大衡村民憲章制定  
 ・大衡小学校校舎が平林に完成  
**昭和49年(1974年)**  
 ・大童教場、大森教場、大瓜分校、針分校が閉校となり、4月から全児童が新校舎に移る  
 ・大衡保育園完成  
 ・「議会広報おおひら」が創刊  
**昭和50年(1975年)**  
 ・農民研修センターが平林に完成  
 ・水道事業経営が県知事より認可を受け、水道創設事業始まる  
**昭和51年(1976年)**  
 ・大衡幼稚園新築移転(児童館併設)  
**昭和52年(1977年)**  
 ・大衡中学校新築校舎完成(2級防音改築工事)  
 ・上北沢排水処理場完成  
 ・8月6日・9月5日東北学院大学考古学研究所が亀岡遺跡の発掘調査を行う  
**昭和53年(1978年)**  
 ・ダイヤル式電話開通 加入世帯1042戸、加入率91%  
 ・有線放送事業廃止  
 ・学校給食センター完成  
**昭和54年(1979年)**  
 ・小、中学校給食開始  
 ・村民体育館完成  
**昭和55年(1980年)**  
 ・五反田北住宅24戸完成  
 ・村の東側約580戸に上水道通水  
 ・無線放送の運用開始  
 ・老人福祉センター開所  
 ・広域ゴミ処理場(大衡村・大和町・大郷町)の環境管理センターが大和町吉田字若畑に完成し、業者委託によるゴミの収集業務が始まる  
**昭和57年(1982年)**  
 ・村花に「ききょう」「村木に「あかまつ」制定  
 ・役場新庁舎が平林に完成  
**昭和58年(1983年)**  
 ・大衡村誌編纂委員会が「大衡村誌」刊行「コミュニケーション」平林会館」完成  
**昭和59年(1984年)**  
 ・仙台北部中核工業団地の造成について覚書の調印式が東京で行われ、地域振興、整備公団と宮城県の共同事業として採択される  
**昭和60年(1985年)**  
 ・大衡村初の名誉村民の称号を菅野廉画伯に贈る  
 ・奥田と大森に通学専用バス(スクールバス)運行  
**昭和61年(1986年)**  
 ・大瓜に通学専用バス(スクールバス)運行

**平成10年(1998年)**  
 ・合併処理浄化槽設置費補助制度スタート  
**平成11年(1999年)**  
 ・名誉村民の称号を前村長佐野小太郎氏に贈る  
**平成12年(2000年)**  
 ・総合運動公園造成工事(自衛隊土木部外工事)完了  
 ・大衡村民プール完成  
**平成13年(2001年)**  
 ・駒場に通学専用バス(スクールバス)運行開始  
**平成13年(2001年)**  
 ・第二仙台北部中核工業団地の新字名を「松の平」に決定  
 ・第二仙台北部中核工業団地一部分譲開始  
 ・無線放送施設設置事業(更新)完了  
 ・特別純米酒「万葉美人」販売開始  
 ・新世紀・みやぎ国体開幕 大衡村多目的運動広場でハンドボール(少年女子) 競技実施(民泊受入)  
**平成14年(2002年)**  
 ・万葉バス「駒場線」運行開始  
 ・中学生までの医療費を援助する「万葉すくすく子育てサポート事業」開始  
**平成15年(2003年)**  
 ・万葉バス本格運行開始  
 ・万葉クリエートパーク一部開園  
 ・幼稚園で預かり保育開始  
 ・第二仙台北部中核工業団地棟業第1号の「柵すかいらいく仙台M Dセンター」完成  
**平成16年(2004年)**  
 ・大衡中学校防音復旧及び大規模改修工事完了  
 ・万葉すくすく子育てサポート事業の助成対象が18歳まで拡大  
**平成17年(19942年)**  
 ・大衡中学校校舎完成  
**昭和30年(1955年)**  
 ・第6回全国植樹祭が、両陛下御臨席のもと平林において行われる  
 ・村営住宅が五反田に10戸、柵木に5戸、上阿園に5戸建設  
**昭和31年(1956年)**  
 ・黒川高等学校大衡分校が本校に統合  
**昭和32年(1957年)**  
 ・村消防団第8分団が増設  
**昭和33年(1958年)**  
 ・王城寺原演習場から駐留軍が撤退、自衛隊が使用する  
**昭和34年(1959年)**  
 ・大衡中学校が学校植林コンクール日本一になる  
**昭和35年(1960年)**  
 ・村消防団に2分団(松原・蕨崎・衡東)が増設  
 ・金洗堰用排水路補修工事が演習場障害防止対策事業で始められる(50年度完成)  
**昭和38年(1963年)**  
 ・大衡中学校の生徒数が開校後最高の580名、この時の大衡第一小児童数698名、第二小329名  
 ・「広報おおひら」第1号発刊  
**昭和39年(1964年)**  
 ・善川と埋川の改修工事が演習場に関連する障害補償工事として継続事業で始まる  
**昭和40年(1965年)**  
 ・亜炭鉱復旧事業始まる  
**昭和40年(1965年)**  
 ・農業構造改善事業(第一次)完工式を行う。  
**昭和41年(1966年)**  
 ・有線放送電話施設工事着手  
**昭和42年(1967年)**  
 ・有線放送開始、12月から公社電話吉岡局と通話可能になる  
 ・交通安全指導員設置  
**昭和43年(1968年)**  
 ・地籍調査事業開始  
 ・村章(大衡村の「大」をマークデザインし三角形の安定した構成は村民の精神的・経済的安定、円形は村の発展を強調)、村民歌制定  
 ・牛野ダム完成(昭和36年着工)  
**昭和44年(1969年)**  
 ・有線放送電話施設工事着手  
**昭和45年(1970年)**  
 ・大衡城跡公園が明治100周年記念事業として整備開園  
 ・軌道敷地を通学路として取得  
 ・過疎地域振興計画樹立  
 ・婦人防火クラブ結成  
**昭和46年(1971年)**  
 ・大衡第一・第二幼稚園開園  
 ・村営住宅を河原に16戸建設  
**昭和47年(1972年)**  
 ・小学校が統合され、大衡小学校となる(児童数大童教場308名、大森教場86名、大瓜分校22名、針分校59名、計475名)  
 ・村営住宅を河原に14戸建設  
**昭和48年(1973年)**  
 ・大衡村民憲章制定  
 ・大衡小学校校舎が平林に完成  
**昭和49年(1974年)**  
 ・大童教場、大森教場、大瓜分校、針分校が閉校となり、4月から全児童が新校舎に移る  
 ・大衡保育園完成  
 ・「議会広報おおひら」が創刊  
**昭和50年(1975年)**  
 ・農民研修センターが平林に完成  
 ・水道事業経営が県知事より認可を受け、水道創設事業始まる  
**昭和51年(1976年)**  
 ・大衡幼稚園新築移転(児童館併設)  
**昭和52年(1977年)**  
 ・大衡中学校新築校舎完成(2級防音改築工事)  
 ・上北沢排水処理場完成  
 ・8月6日・9月5日東北学院大学考古学研究所が亀岡遺跡の発掘調査を行う  
**昭和53年(1978年)**  
 ・ダイヤル式電話開通 加入世帯1042戸、加入率91%  
 ・有線放送事業廃止  
 ・学校給食センター完成  
**昭和54年(1979年)**  
 ・小、中学校給食開始  
 ・村民体育館完成  
**昭和55年(1980年)**  
 ・五反田北住宅24戸完成  
 ・村の東側約580戸に上水道通水  
 ・無線放送の運用開始  
 ・老人福祉センター開所  
 ・広域ゴミ処理場(大衡村・大和町・大郷町)の環境管理センターが大和町吉田字若畑に完成し、業者委託によるゴミの収集業務が始まる  
**昭和57年(1982年)**  
 ・村花に「ききょう」「村木に「あかまつ」制定  
 ・役場新庁舎が平林に完成  
**昭和58年(1983年)**  
 ・大衡村誌編纂委員会が「大衡村誌」刊行「コミュニケーション」平林会館」完成  
**昭和59年(1984年)**  
 ・仙台北部中核工業団地の造成について覚書の調印式が東京で行われ、地域振興、整備公団と宮城県の共同事業として採択される  
**昭和60年(1985年)**  
 ・大衡村初の名誉村民の称号を菅野廉画伯に贈る  
 ・奥田と大森に通学専用バス(スクールバス)運行  
**昭和61年(1986年)**  
 ・大瓜に通学専用バス(スクールバス)運行



ときわ台南団地

**平成24年(2012年)**  
 ・大衡幼稚園が閉園  
 ・民設民営の「おおひら保育園」が開園  
 ・路線バス「三本木大衡線」運行開始  
 ・セントラル自動車(株)、関東自動車工業(株)、トヨタ自動車東北(株)の3社が合併し、トヨタ自動車東日本(株)となり本社を大衡村に置く。  
**平成25年(2013年)**  
 ・(株)すかいらいくと災害時支援協力協定を締結  
 ・万葉おおひらパークゴルフ場来場者50万人到達  
 ・西部球場の愛称を「葉天イーグルス大衡球場」と命名  
**平成26年(2014年)**  
 ・福祉センター改修工事完了  
 ・大衡村バイオディーゼル燃料導入促進事業開始  
**平成27年(2015年)**  
 ・無線放送施設デジタル化更新工事完了  
**平成28年(2016年)**  
 ・ときわ台行政区を新設し14行政区となる  
 ・ときわ台集会所がときわ台に完成  
 ・「万葉にこにこ保育園」が開園  
 ・岩手県金ケ崎町と友好交流都市協定を締結  
 ・万葉のびのび子育て支援事業を拡充(紙おむつ、粉ミルクも利用可能)  
**平成29年(2017年)**  
 ・万葉のびのび子育て支援事業を拡充(出産祝金、小中学校入学祝金・高齢者多クシ利用助成事業開始・予防接種助成事業を拡充(おたふくかぜ、ロタウイルス、中学3年生のインフルエンザ予防接種)・金ケ崎町と災害時相互応援に関する協定を締結  
 ・ときわ台南分譲開始(平成29年11月完成)  
 ・東北生活文化大学と教育・文化・学術の振興等に関する包括連携協定を締結  
**平成30年(2018年)**  
 ・認可保育所「ききょう平保育園」開園  
 ・障害福祉サービス事業所「わは・わ大衡」開所  
**平成31年・令和元年(2019年)**  
 ・村の人口が6千人を超える  
 ・学校給食費の無償化スタート  
 ・小型動力ポンプ付軽積載車を消防団第6分団に配備  
 ・宮城県9・1総合防災訓練が大衡村を会場に開催  
**令和元年(2019年)**  
 ・大衡村誌編纂委員会が「大衡村誌」刊行「コミュニケーション」平林会館」完成  
**令和59年(1984年)**  
 ・仙台北部中核工業団地の造成について覚書の調印式が東京で行われ、地域振興、整備公団と宮城県の共同事業として採択される  
**令和60年(1985年)**  
 ・大衡村初の名誉村民の称号を菅野廉画伯に贈る  
 ・奥田と大森に通学専用バス(スクールバス)運行  
**令和61年(1986年)**  
 ・大瓜に通学専用バス(スクールバス)運行



旧役場庁舎(野畑地内)